学校番号 3002

# 平成29年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目		園芸装飾		単位数	2 単位	年次	3年次
使用教科書	生物活用	(農文協出	出版)	、草花	(実教	数出版)			
副教材等									

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

花壇制作を中心に学びます。秋の農芸祭に向かって花文字花壇を制作します。花壇の設計から定植・管理までをおこないます。座学を通して、色彩、株数計算、造形の構成原理を学びます。 実習では色々な意見を出し合い、積極的に取り組み、花壇を完成させましょう。

### 2 学習の到達目標

- ・花壇制作における基礎的な知識や技能を習得します。
- ・花壇設計から定植・管理方法を身につける。
- ・いろいろな意見を出し合い、協力しながら一つのものを作り上げる達成感を身につける。

#### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	園芸装飾の一つである花壇制作について 興味関心を持ち、仲間 と共に意欲的に学習 に取り組んでいる。	園芸装飾の一つである花壇制作について 理解し、基本的な知識 と技術を基に制作し ていく能力を身につける。	園芸装飾の一つである 花 壇 制 作 に ついて、基本的な技術を身につけ、適切に活用している。	園芸装飾の一つである 花壇制作について、基本的な知識を身につけ、花壇制作 方法について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノート プリント	学習状況の観察 ノート プリント 定期考査	学習状況の観察 ノート プリント	学習状況の観察 ノート プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

# 4 学習の活動

学	⇒  単		主な評価の観点					
当期	単元名	学習内容	a	b	С	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
	花壇制	・花文字の字体と大きさ	0	0		0	a: 定植までの花壇制作について、	授業観察
学期	作につ	を考える。					関心を持ち、意欲的に学習に取り	ノート
	いて	・花壇の種類と活用。	0			0	組もうとしている。	プリント
		・株数の求め方(方眼紙	$\circ$			$\circ$	b: 定植までの花壇制作について、	定期考査
		法)					話し合い思考を深め、判断・表現	
		・図面上で杭の打つ場			0		する姿が見られる。	
		所、定植の場所を描く					c: 定植までの花壇制作について、	
		・杭を打つ			0		設計から定植までの技術を活用し	
		・定植をする			0		ている。	
							d: 定植までの花壇制作について	
							理解し、基本的な知識を身に付け	
							ている。	
<u>-</u>	花壇制	・造形の構成原理を理解	0		0	0	a:花壇整形について、関心を持ち、	授業観察
二学期	作につ	する。					意欲的に学習に取り組もうとして	ノート
	いて	•花壇整形			0		いる。	プリント
		・花壇を完成させる。	$\circ$	0	0	$\circ$	b: 花壇整形について、思考を深	定期考査
							め、判断・表現する姿が見られる。	
							c: 花壇整形について、基礎的な刈	
							り込みの知識を身に付け、その技	
							術を活用している。	
							d: 花壇整形について、理解し基本	
							的な知識を身に付けている。	
=	色々な	・株数の求め方(計算	$\circ$			$\circ$	a: その他の花壇の活用について、	授業観察
三学期	花壇と活	法)					関心を持ち、意欲的に学習に取り	ノート
	用	・コンテナガーデンとハ	0	0		0	組もうとしている。	プリント
		ンギングバスケット					b: その他の花壇の活用ついて、課	定期考査
		・収穫かごの作成			0		題を見出し、その解決をめざして	
							思考を深め、判断・表現する姿が	
							見られる。	
							c: その他の花壇の活用について、	
							基本的な技術を身に付け、その技	
							術を活用している。	
							d: その他の花壇の活用について、	
							理解し知識を身に付けている。	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画 (例) 作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について ○を付けている。